

今年の箸技大会も、とても盛り上がりました。



## 幸せへの道 心の解放

園長 藤本光世

第 15 回円福寺愛育園箸技大会は、2 月 1 日（土）に盛大に開催することができました。国際箸学会の横瀬由美子さまには、第 1 回から連続して川口市からおいでくださり、誠にありがとうございました。

練習は 2 週間前から始まりました。昔は食堂に集まって練習していたのが、ここ数年はホームで練習するようになり、私にはその様子は分かりませんでした。でも、開会式から子どもたちの集中力や本気度や、意気込みが凄く伝わってきて、大会が進むにつれて盛り上がり凄かったのです。詳しくは、職員や子どもの感想をお読みになってください。私は、私自身が感じたことを書きたいと思います。

### 1. 団体戦

団体戦は、二種類でした。

始めは、幼児さんや調理の先生方も加わって、まさに老若男女の混合チームを 4 つ作って、トーナメント戦です。

幼児さんも中高生と同じように 50 個のピース（ピーナッツ）を運びます。今年初めて経験した 4 歳や 5 歳の子が、集中して真剣に 50 個のピースに挑戦している姿は、素晴らしかった。さらに、お兄さんお姉さんや職員の近くまで移動して、一所懸命応援している。この姿も本気さが伝わって来て、可愛くてとても良かったです。

横瀬さんから、ある発達障害の施設で、児童と職員と一緒に箸ピーをやって、垣根が低くなったというお話をお聴きしました。愛育園と一緒に生活していますから、子どもたちは職員ともっともっと親しくなっただけでしょう。

国際箸学会の小宮山栄会長は、箸ピーは老若男女と一緒に競技できる唯一の競技と強調しておられます。まさに、この団体戦にその姿が見えて、箸ピーはすごいなあと思いました。

もう一つの団体戦は、まごころチーム（女の子）対あおぞらチーム（男の子）でした。実はあおぞらさんに二人も水疱瘡が出てしまって、速い子が出場できなかったのです。ホーム長は、差がついてしまうだろうなあ、半ばあきらめていました。

ところが競技が始まったらどうでしょう。あおぞら作戦は速い子を前に置き、なんと中盤では二人分近くリードしたのです。アンカーのまごころは物凄く速い子でした。あおぞらは 2 年目の子だけど、一所懸命練習してかなり速くなっています。タッチした時、半人分くらい（25 ピース）の差がついていました。これは勝つかもしいないと思いましたが、ところがなんとしたことでしょう。あおぞらのアンカーがピースを床に落としてしまったのです。これで、まごころチームが僅差の大逆転勝利となりました。大歓声が上がったのは言うまでもありません。盛り上がったなあ。ドラマがありました。床に落とした子をみんなで温かく包んで、あおぞらさんも立派でした。

### 2. キング決定戦

キング決定戦は予選を勝ち抜いた 8 名による一発勝負です。予選の 1 位の記録は 330 でした。すごいなあ、330 個ってわかりますか。右手で 1 分間に 200 個もピースを移動させるのです。1 秒間に 3 個以上。左手でも 120 個。神業です。集中しないとできません。緊張感が凄かったし、素晴らしかった。Y 君は、左手の時に落としてしまったのに 301 個の準優勝でした。彼の箸遣いとピース運びを見て、この大会にかける気持ちが凄く伝わってきました。子どもたちが真剣に本気になって集中して競技する姿は美しいです。ピースのとび方も美しいです。

箸技大会を終えて、男の子は体育館でバスケットボールを楽しんで汗を流していました。そして、今日（2 日）中高生は昼食を持ってスキーに出かけました。

去年は職員が自分のボードやスキーを子どもたちに貸してやって、リフトのないスキー場で練習させたと聞きました。職員の温かな心に打たれて、ボードとスキーのセットを各 10 個買ってやりました。みんな喜んだなあ。

今年はリフトに乗せて滑らせてやりたい。そう思いました。それにはウェアが必要です。職員に見繕ってもらい、おもしろいご寄付を使って、20 着購入してあげました。さあ、リフト券です。一日券は高いです（4000 円くらい）。なんとかならないかなあ。元八十二銀行松本営業部長を務められた太田英行氏は、信州ブレイブウォーリアーズの試合に子どもたちを招待してくれました。彼に頼めば、近くのスキー場につないで配慮してもらえるかもしれない。こうして、愛育園の子どもたちのために、スキー場が支援をいただけることになったのです。嬉しかったなあ。町長さんは福祉のお仕事をしたことがあり、父を知っていました。私は近くの高校に勤めたことがありました。支配人さんも愛育園を知っていました。いろいろなご縁がかさなって、毎週土日になると中高生をスキー場に連れて行って、リフトに乗せてやることができ、とっても嬉しいです。連れて行ってくださっている職員にも感謝、感謝です。

今朝（3 日）の報告では、みんなとっても上達して、ジャンプ台に挑戦する子もいるとのこと

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

でした。子どもたちが嬉しそうに話しに来てくれるのも、とっても嬉しいです。

愛育園は、子どもたちが幸せな生涯を送るための基礎を築く施設です。子どもたちにも機会があるたびにそう話しています。幸せな生涯を送るにはどうしたら良いでしょう。子どもたちは高校を卒業すると、人を陥れるさまざまな悪い誘惑が渦巻いている社会で、一人で生きて行かなければなりません。そのための基礎力を付けることが如何に難しいかお分かりになっていただけたと思います。

実は、愛育園は子どもに携帯を持たせていません。携帯は卒園すれば持てますよね。自由に使えます。今は、愛育園の生活や学校の勉強を頑張っって自分の可能性を拓くことが大切です。携帯の悪いサイトを見て、あるいはゲームをして夜更かしして時間を使うのは、不幸への道です。それが原因で当園に来た子もいるのです。

そして毎朝のおまいりがあります。子どもが朝夕おまいりをしている一般家庭はないでしょうね。

県や児相は、愛育園の生活が一般家庭と違っていて、家庭的養護からは程遠く、最低最悪の子育てとと思っているでしょう。そして、国の施策に反した子育てで子どもが立派になるのを苦々しく思っているかもしれません。おまいりはやらされている、携帯も持たなくて子どもは不満を持っているだろうと、子どもの不平不満を焚きつけるような面接をしていると感じることがあります。残念です。分かってくれてないなあ。

そんな面接の報告を聞くたびに悲しく、仕方がないかと思っていました。

しかし、違っていました。子どもたちは愛育園の生活を本当に楽しいと感じ、感謝の心で受け止めてくれれば、自然と自発的に愛育園の生活に取り組み、自らを向上しようと努力するのです。携帯が無いのも当たり前で意に関せず、おまいりも声を出して取り組むんです。朝の雑巾がけにも取り組むんです。

私は、このことをスキーから帰った子どもたちの感謝の言葉と表情から気付きました。「園長先生、ありがとう。」「園長先生、本当に楽しかった。」「上手になったか?」「上手になったよ。山中を滑れるよ。楽しいよ。」「園長先生ありがとう。」このように、話してくれる子どもたちを見て、そして顔つきが穏やかになっていく子どもたちを見て、これこそ幸せへの道だと確信したのです。

子どもたちは、私たちの心に心で応えてくれているのです。心がわかった子は、自分から幸せになろうと努めるのです。暴言などは無くなるのです。心に生まれる「感謝の心」こそ幸せへの道なのです。それが子どもの事実で示されているのです。これを奇跡といわずに何というのでしょうか。

でも分かってくれないんだなあ。

(令和7年2月10日発行 月刊「円福」533号付録)

箸技大会もその一つでした。一所懸命になれる時間、みんなで喜びあえる時間、みんなで楽しめる時間、そのような時間の積み重ねが、子どもたちを幸せへの道ですね。

子どもたちありがとう。職員ありがとう。感謝、感謝、感謝です。

## 第15回箸技大会

主任指導員 T.M

2月1日、第15回箸技大会がありました。第3回大会まで食堂の片隅で小さく開催していた行事が、今や体育館に場所を移し愛育園の一大行事となって、毎年、白熱した戦いが繰り広げられています。今年もとても盛り上がりました。

箸技大会の中の「箸ピー競技」について説明します。赤と黒の箱(高さ1.5cm縦横15cm程)が二つ並べられ、片一方には50個の落花生を模したピースが入っています。後は、箸でつまんでひたすら空き箱の方に50個のピースを移動し、50個運び終えたら、元の箱に戻す。これを繰り返すだけです。とても単純です。右手と左手でそれぞれ1分間の制限時間の中で運べた個数を合計したものが記録となります。

やってみるとわかりますが、最初は、利き手でも、まず100個に到達するのが難しいです。更に利き手でない方は全く手が言う事を聞きませんので20個くらいで終わってしまう可能性が…。ちなみに私は一時期少しだけ上達しましたが、ここ7、8年はずっと右手120個、左手60個の合計180個の記録で停滞したままです。

第3回大会(12年前)を優勝した子の記録は207個でした。当時、200個以上の記録は神業ともいべき記録でした。その子が両手を器用に使いこなす事もあって、第1回から3連覇して、誰も彼の記録に近づく事ができませんでした。

さて今年、優勝した子の記録はいくつだと思いますか?なんと317個です。2位は2人いて301個です。もう300個超えないと優勝争いに絡めなくなってしまう次元にレベルが上がってしまいました。上位層だけでなく、もうほとんどの子が200個や250個以上の記録を持っています。

200個を超える事が絶対無理と思われていた時代から、大会の回を重ねるごとに記録が伸び続けて今や300個が当たり前となってしまったのです。これは、子ども達の集中力や柔軟性の賜物であると思いますが、私が一番すごいと思っている事は限界を決めずに取り組んでいる事です。私は「200個いったら神業」と決めつけちゃっているのもう記録が伸びないのだと思うのですが、子ども達はまだまだ記録を伸ばしていけると純粋に信じて練習に励んでいるのだと思います。今年も練習の中で、右手の1分間の記録が200個を超えた女の子がいたそうです。凄すぎます。

箸技競技は箸の使い方や集中力の向上、また、この箸技大会を通して交流の輪が広がったり、いい事がとても沢山ありますが、子ども達が自分の可能性に気づけて、それが大きな自信になっ

て他の事にも意欲的になったり前向きな気持ちになったり、そういう何にも代えがたい経験をもたらしてくれる事、それが何よりもありがたい事だと思っています。だから、箸技競技を発明し愛育園に教えて下さった国際箸学会様に大変感謝をしております。

来週、今度は国際箸学会様が主催する第9回箸技大会が埼玉県川口市で行われ、愛育園のみなでお邪魔させていただく事になっています。こちらも第1回大会からずっと参加をさせて頂いており、個人戦、団体戦共にずっと優勝させて頂いています。毎年、愛育園の子たちが強すぎて、他の参加者さんのやる気を喪失させてないか、、空気が読めていなのでは、、と心配するのですが、国際箸学会の方から、「愛育園の皆さんの凄さによって感動を与え、箸技競技の普及が広がりを見せてくれるので有難いです。」と、なんとも嬉しいお言葉を頂いております。実際に今年の参加者さんの数は150名を超えるそうで、沢山の方々に子ども達の勇姿を見て頂ける事も、子ども達にとって貴重な経験になるなあとワクワクしております。

最後に、箸技の記録が伸びる秘訣をもう一つ。それは、普段の生活をしっかりと送っているという事です。つまり箸技の練習以外の時間を手を抜かず自分の為に一生懸命頑張っている事が良い記録に繋がります。そして良い記録が出ると生活面がまた向上していきます。箸技大会の練習期間中そんな相互作用が生まれている子が沢山いました。

これからも普段の生活を大切に子ども達と毎日をご一緒に過ごしていきたいと思っております。

## 第15回箸技大会

まごころホーム H・M

2月1日に園内で箸技大会が行われました。毎年恒例となりましたが、約2週間毎日練習をし、記録を取り始めました。まごころホームでは年中さんから箸ピーに取り組んでいました。普段は座っていることが少し苦手な子どもたちですが、練習が始まると静かになり、とても集中してやり始めます。時には上手く記録が伸びず、悔しい思いをすることもありましたが、さらに上の記録を目指そうと一生懸命頑張る姿がありました。



本番では、初めて箸技大会に参加して、緊張した様子の子や、優勝を狙って意気込む子もいました。結果はそれぞれでしたが、みんなが真剣に競技に向き合う姿は、とても美しかったです。団体戦は応援の声が響き、とても盛り上がりました。チーム戦では、トーナメント式で行われ、白熱した試合になりました。

本番では、初めて箸技大会に参加して、緊張した様子の子や、優勝を狙って意気込む子もいました。結果はそれぞれでしたが、みんなが真剣に競技に向き合う姿は、とても美しかったです。団体戦は応援の声が響き、とても盛り上がりました。チーム戦では、トーナメント式で行われ、白熱した試合になりました。

来週、川口市で行われる箸技大会に向けて練習を継続しています。今回の記録よりも、もっといい記録が出るよう、子どもたちと共に頑張っていきたいと思っております。

## 第15回箸技大会

あおぞらホーム F・K

円福寺愛育園では、2月1日に今年も箸技大会を行いました。

今年も大会の2週間前から練習を始め、子どもたちの練習している様子を見てみると、記録が伸びて嬉しそうにする姿や、逆に思うように記録が出せずに悔しそうにする姿など子どもたちの色々な表情を見る事ができました。なかには全体の練習時間以外の時間でも個人練習をしている子もおり、私自身もそういった子どもたちと一緒に練習をして、上達のために練習する時間を共有できたことで、私自身の行事に対する思いも大きくなっていき、子どもたちと共にこの行事をいいものにしようと、より一層思うことができました。そういった所から、箸技競技は基本的には個人競技ではありますが、子どもたちも職員もみんなが一致団結して努力できる側面もあるのだと改めて感じました。



大会では、少し緊張したような表情をする子や逆にリラックスした様子の子など様々な姿の子どもたちが一斉に競技を開始し、会場には競技を進める箸やピーナッツの音がだけが聞こえる様子は、緊張感があり子どもたちの真剣さがひしひしと伝わってきました。大会の結果としては、満足いく結果となった子もいれば悔しさの残る結果となった子もいると思いますが、みんなが練習の成果を発揮しようとして一生懸命になる姿は、見ていてとても気持ちが良いものでした。そんな大会の中で、小学5年生のA・YさんとM・Yさんは、A・Yさんは箸リン箸ピーともに7位入賞、M・Yさんは箸リン8位入賞という記録を出しており、中高生も参加するこの大会で小学生が練習の成果を発揮してここまで記録を伸ばして入賞できたことは本当にすごいなと感心させられると同時に小学生でも中高生に勝つことも夢ではない箸技という競技は改めて面白いと感じさせられました。また、ホーム対抗の団体戦では、大会の直前にあおぞらホームで水疱瘡が流行ってしまい、主力メンバーがかけた状態だったため、もしかしたら大差で負けてしまうかと思っていたのですが、あおぞらホームの子どもたちは主力メンバーがかけた中でも諦めたりすることなく戦い、結果としては負けてしまいましたが、その差はごくわずかであと少しで勝てると

いうところまで頑張ってくれました。そのような子どもたちの逆境でも諦めない姿から私自身も勇気もらうことができました

2月8日には、川口市で行われる箸技大会があります。今回満足のいく結果だった子も悔しさの残る結果だった子も全力で挑んでもらえればと思います。

今年の箸技大会では、私は実行委員長を務めさせていただきました。初めて行事の主担当をさせていただき、わからない事もたくさんありましたが、色々な先生方にも協力していただきながら無事に行事を終える事ができ、今までにない視点から行事に参加させていただいたことは、とても良い経験となりました。

### 第15回箸技大会

まごころホームK・S

2月1日に第15回箸技大会が開催されました。この日に向け子どもたちは何日も前から練習に励んできました。練習では少しずつ自分の記録が上がって喜んでいたり、思うようにいかず悔しがったりする子もいました。また、この大会には幼児さんも参加するため、幼児さんも毎日コツコツ練習を積み重ねてがんばっていました。なかでも、年長児のAちゃん・Hちゃんは諦めたり、練習を投げ出したりすることなく、箸技の記録を計るたびに自分の記録を見て「やったー!」、「次はもっと速くがんばろう」と前向きに捉える姿がとても印象に残っています。

当日は、大会が始まる前も全員が時間一杯練習をしていました。私も初めて箸技大会の団体戦に参加するため練習をしていると、Mちゃんが私に「一緒にやろう!」と声をかけてきました。一緒に練習をしていると真剣な顔をして取り組むMちゃんを見て、大会が始まる前の最後の最後まで自分と戦う姿がとてもかっこよく感じました。そして本番では、全員が緊張を感じながら個人戦・団体戦が行われました。



個人戦ではこれまでの練習の成果を発揮しており、団体戦では同じチームの仲間を応援し合い、協力して勝つために真剣でした。大会が終わった後も、「初めて120いったよ!!」と嬉しそうに伝えてきた子もおり、私自身嬉しかったです。箸技大会を通して、一人ひとりが自分自身に打ち勝って挑む姿をみた時に改めて子どもたちの自信や力の凄さを感じました。

### 箸技大会 あおぞら児童感想

箸技大会がありました。今年は、今までよりも記録が良くなって練習で最高240個も出せたの

で、本番も頑張りたい気持ちでいました。

開会式では、ぼくの弟が選手宣誓をやっていてとてもすごかったです。一番嬉しかった事は、本番で自己ベストを更新できた事です。そして、予選の上位8名が出場できるキング決定戦にも出られました。中高生にも勝つことができ、表彰式で初めて賞状ももらえて本当に嬉しかったです。来年もキング決定戦に出場できるように頑張りたいです。とても楽しい箸技大会でした。

(小5 A.Y)



僕は去年の箸技大会に初めて参加する予定で一生懸命練習したのですが、大会当日の朝、体調不良で参加できなくなってしまい悔しい思いをしました。だから今年は去年以上に練習を頑張りました。練習で200個を超える事ができてとても成長する事ができました。

大会本番も初めて出られた箸技大会でいい記録を出す事ができてとても嬉しかったです。でも、「あおぞらホーム」と「まごころホーム」の大事な団体戦でアンカーを任

されたのに僕の所で豆を落としてしまって負けてしまいました。僕の所までリードしていたのに僕のせいで負けてとても悔しかったです。みんなは「なにやってんだよ」と言いながらも笑って励ましてくれていましたが、とっても悔しくて、大会が終わった後、お茶会の時間になってもまだ暗い気持ちでいました。次の大会では絶対豆を落とさないように練習を頑張ります。そして、来年の大会では僕のおかげで「あおぞらホーム」が勝てたと言ってもらえるように今年の悔しさをはね返したいです!

(高1 K.K)

### 箸技大会 まごころ児童感想

『はしわざ大会』

2月1日にははしわざ大会がありました。はしリン1回、はしपी2回というふうにやりました。はしपीの2回目で左手が120って、とってもうれしかったです。はしリンも3周もいったのですごくいい点を取れた気がしました。次は、団体戦をやりました。わたしはグリーンチームで、ブルーチームとやりました。ブルーが勝ちました。次は3位を決める戦いをやりました。イエロー対グリーンでグリーンが勝ちました。次はホーム別の団体戦をやりました。あおぞら対まごころでやって、ギリギリでまごころが勝ちました。いいしょうぶでした。次はキング決定戦をやりました。出られるのは上位8名だけで、私はどちらも出られなかったけど自己ベストを超え

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

られた気がするので良かったなと思いました。Sちゃんは予選でどちらも1位だったのでとてもすごいなと思いました。私もSちゃんみたいに速くなって決定戦に出たいなと思いました。最後に表彰式をやりました。はしリンクはSちゃん、はしピーキングはMちゃんでした。私は努力賞をもらいました。初めてメダルをもらったのでめっちゃくちゃうれしかったです。今度は8位以内に入りたかったです。川口の大会ではもっと記録をのばしたいなと思いました。

(小5 Rさん)

#### 『はしわざたいかい』

はしびいががんばりました。にかいががんばりました。だんたいせんもがんばりました。いえろーちーむはよんい(4位)だったよ。おうえんしてもらってうれしかったよ。おうえんありがとう。じぶんも(おうえん)したよ。つぎのはしわざたいかいもがんばりたい。

(年長 Hさん)

#### 『第15回箸技大会』

2月1日に、第15回箸技大会がありました。私が、印象に残っていること、思い出になった



ことは3つあります。一つ目は、予選で箸ピーと箸リンが1位だったことです。今年は、どんなに練習しても思うような記録が出せずにいたので上位に入るのをあきらめていました。けれど、両方とも1位で名前を呼ばれて嬉しかったです。二つ目は、箸リンで二連覇することができたことです。箸ピーは、左手が上手いかず順位を落としてしまったけど、箸リンは1位をキープすることができました。三つ目はあおぞら対まごころの団体戦

で、まごころが勝つことができたことです。2年ぐらいあおぞらに負けていたので、勝つことができて良かったです。来週の川口市での大会は、箸ピー、箸リン、団体戦全部優勝できるように1週間頑張りたいです。最後の箸技大会、悔いのないように全力で取り組みたいです。

(高3 Sさん)

#### お正月行事 あおぞら

あおぞらホーム A・Y

あおぞらホームではこのお正月に沢山のイベントがありました。元旦は毎年恒例となっている横田神社への初詣から始まり、調理の先生が準備してくださったおせち料理をいただいたり、2日は午前中に円福寺大黒天に参加し、午後はボーリングに行きました。そしてその夜は、温泉へ入ったり、ホーム長のお寺でのお泊り会もありました。3日は映画館へ行き、映画鑑賞をするなど、今年のお正月は例年以上に子どもたちにとって充実したお正月休みとなったのではないかな

(令和7年2月10日発行 月刊「円福」533号付録)

と思います。新年となり一か月が過ぎようとしています、今年も一年、子どもたちが安心して、安全な生活が送れるよう職員として見守っていきたくと思います。本年もよろしくお願い致します。

#### お正月行事 まごころ

まごころホーム T・M

今回のお正月行事では、ボーリングやスケート、善光寺への初詣などさまざまなことを行いました。年末年始の間、年中から高校生の幅広い年齢の子たちが園にいることが多く、みんなでゆっくりと過ごすことができました。ボーリングやスケートでは中高生の子たちが、うまくできない年下の子に教えてあげたり、一緒にやってくれたり、優しい姿も見られました。みんなとても楽しく過ごせていました。善光寺の初詣は、私は幼児と小学生と一緒にきました。一年の始まりを感じることができ、みんなでお参りもできました。おみくじを引くと、それぞれどんなことが書かれているか真剣に見ていました。小さい子たちも「なんて書いてある？」と興味津々で、たくさん聞いていました。冬休みは他の休みに比べ短いですが、色んな行事を通して充実した休みになりました。

#### あおぞらホームだより

あおぞらホーム M・N

新年が明け、早くも一か月が経とうとしています。寒暖差が激しい今年の冬ですが、子どもたちは毎日活発に過ごしています。

先日は園内行事で箸技大会が開かれました。この日のために子どもたちは毎日練習を重ね、日々記録更新を目指すのに一生懸命でした。印象に残っているのは小学三年生のA君の頑張りです。練習期間では目標にしている記録を更新するととても嬉しそう、そんなA君を見ることができたのが私も嬉しかったです。

A君は選手宣誓を任せられ、本番二日前から覚え始めました。気が逸れるときもあり、「本番大丈夫かな、」と聞いていましたが、本番ではみんなの前で堂々と大きな声で発表するA君の姿がありました。短期間で一言一句間違えずに言えることももちろんすごいですが、自信を持って堂々とした姿に感動してしまいました。終わってからA君に「選手宣誓とてもよかったよ」と伝えると、少し照れていていつものA君でした。

来週は埼玉県川口市で開催される箸技大会に園の皆で出場します。毎年出場している大会ですが、環境が変わると余計に緊張するものです。皆には日々の記録や集中力に自信を持って楽しむ気持ちも忘れずに頑張ってもらいたいです。



## まごころホームだより

まごころホームN・R

年が明け、2カ月が経とうとしています。寒さがまだまだ厳しいですが、まごころホームの子どもたちは残り少ない3学期も元気に学校に行っています。

先月は、園内での行事である「箸技大会」が行われました。子どもたちは、毎日この日に向けて練習を頑張っている姿がありました。また、まごころホームでは幼児も含め初めて参加する子どもが多くいましたが、全員が本気で取り組んでいる姿がとてもかっこよかったです。その中でも特に印象に残っているのは、初めて参加するRさんです。Rさんは、全員での練習の他に寝る前や、休日の空き時間なども利用してたくさん練習していました。また、自己ベストを更新したり、良い記録が出たりすると職員に嬉しそうに報告する姿もありました。本番では、会場の雰囲気などもあり緊張した様子ではありましたが、とてもよく頑張っており努力賞をもらっていました。もらったメダルに喜んでいましたが「来年は絶対キング決定戦に出たい」と言っており、まだまだ頑張る姿勢が見えました。

8日には埼玉県で行われる国際箸技大会に参加します。子どもたちはより一層緊張すると思いますが、しっかりサポートしていければと思います。

## 調理室だより

調理員 O・H

晴れの日が続いていますが、大寒の折風がとても冷たいです。今月は8人が誕生日を迎え連日お祝いメニューとなりました。

### 1日 おせち料理

たこ飯 お吸い物 海老 黒豆 もち米焼売 里芋のタラコ和え 豚の角煮 苺大福

### 5日 Hさん誕生日メニュー

サンドイッチ カリカリポテト ポテトサラダ

チョコパフェ

### 7日 七草粥

### 9日 K君誕生日メニュー

ざるそば 天ぷら さけチーサラダ 抹茶パフェ

### 16日 Mさん誕生日メニュー

グラタン 塩唐揚げ カプレーゼ 苺パフェ

### 19日 Y君誕生日メニュー

ねぎ塩ラーメン 手作り餃子 海藻サラダ 苺大福

### 26日 Rさん誕生日メニュー

クリームシチューライス 塩唐揚げ カプレーゼ

シュガートースト

### 27日 Tさん誕生日メニュー

一風堂ラーメン 餃子 白菜の浅漬 チョコバナナパフェ

### 28日 K君誕生日メニュー

醤油ラーメン 塩唐揚げ メロンパフェ

### 29日 H君誕生日メニュー

明太クリームスパゲッティ カリカリポテト カミカミサラダ ジュース

